

【緑地を楽しむ本】

## 『種から種へ 命つながるお野菜の一生』

鈴木純・著 雷鳥社



私たちが毎日お世話  
になっている野菜たち。  
でも、調理の際に見てい  
るのは、その野菜のほん  
の一時の姿だけです。それ  
以前や以後、この野菜が  
どんな姿をしているか、  
疑問にも思わないのでは  
ないでしょうか。今おひ  
たしにしているハウレン

ソウの花って、どんな花？とか、サツマイモの  
葉っぱがスペードの形というのは知っている  
けど、花は知らないなあ・・・など。

第一、一体この野菜はどの部分を食べてい  
るのかすらわかっていないものも多いのです。

アスパラガスは「茎」を食べているなんて、考え  
もしませんでした、それに、アスパラガスの周  
りにについている三角形の小片が葉っぱだったと  
は。

そんな、気にしたこともない野菜のすべての  
ステージを、詳細な写真と共に見せてくれる本  
です。すると、生真面目で直情型と思えた長ネ  
ギが、芽生えの時はくねくねとひねくれて出て  
くるとか、目からうろこでした。そして野菜た  
ちはどれも精一杯成長し、よりよい子孫（種）を  
残すために頑張っているのですね。どの写真も、  
美しいです。

これからは野菜を調理する時も、その野菜の  
一生を尊重してていねいに料理することにしま  
しょう。

(小川)